

～地域での支え合いの仕組みづくり

(生活支援体制整備事業) がはじまっています～

私たちが生活支援コーディネーターです!

生活支援コーディネーター 地域通信 第4号

令和6年3月発行



杜協・川辺



包括・岸田



包括・平山

生活支援コーディネーターって何をする人?

生活支援コーディネーター (SC) は、地域住民や地域組織、ボランティアなどと連携・協働しながら、住民同士の支え合い活動の仕組みづくりを一緒に考えていきます。町内会・自治会や地域の活動の場に出向きますので、みなさんのお話を聴かせてください。

「地域のためにこんなこと、あんなことがやりたい」をお手伝いさせていただきます。



例えば、こんな声を地域から聴くことができました。私たち生活支援コーディネーターはいろいろなヒト・さまざまなモノを活用し以下のような活動に繋がりました。

「誰かとお話
したい」

「食べる物の
支援はできる」

地域食堂
「おおすびころりん」



「サロン
やりたい!」



浅生原地区

「さんさんらじお in 寺子屋」

「行事も昔より
なくなった」



「みんなが集まれる
何かをやりたい」



合戦原地区

「あっぷるサロン桜塚」

「勉強だったら
教えられる」



「食べる物
がない」

上平地区

「さわやかラジオ体操」

「みんなが集まれる
何かをやりたい」



合戦原地区

「にぎやかくらぶ」

笠野地区

「ほっこりかさのかふえ」



真庭地区

「きんようびのらじお体操」



下郷地区

「みずいろサロン」

～地域にはこんなに良い「お宝」があります～

つばめの杜東地区「健康教室:なかよし会」



つばめの杜東地区「健康教室」の紹介です。毎週木曜日 10時から 11時 40分まで、フレイル予防を目的として地域住民が集っています。今回は、詐欺事件等が増加していることを踏まえ、健康教室でも詐欺予防の出前講座を実施しました。県の消費生活センター職員から寸劇やDVDを鑑賞、詐欺に合わない様勉強会で理解を深めました。自宅の電話には「留守電機能」を活用し、詐欺防止に対処すると良いとアドバイス等も頂き、消費者トラブル等で困った時には、「電話 188 番」に連絡。参加者からは、分りやすかったと感想も聞かれました。

町地区「なかよし お茶のみ会」

町地区「なかよし お茶飲み会」の紹介です。地域高齢者の孤立防止の為、町地区でお茶飲み会を開催しています。地域内に限らず他地区の参加も見られ交流が行われています。月2回、第2・4金曜日午前10時から 11時 30分。代表の方が趣向を凝らし、「工作、歌、体操、踊り等」を実施、皆さん楽しく過ごしています。お菓子やお茶を頂きながら会談し笑い声もあり、にぎやかです。また、季節ごとのイベントもあり年に5回、会食も楽しまれています。



浅生原地区「仲良しお茶会」



浅生原地区の「仲良しお茶会」を紹介します。震災の時、仮設住宅で知り合いになった知人と小物づくりをしながら楽しみを見付けました。その後も自宅に知人が集うようになり、今も続いています。料理も踊りも好きで、自宅に招く時も料理を作り、お茶飲みをしながら会話に花が咲いています。地域のイベントの際には、得意の踊りを披露するなど充実した生活を過ごされています。時には、震災で亡くなった家族のことを思うと悲しくなりますが、知人が集うことで、寂しさが紛れ生きがいとなっているそうです。

地域包括支援センター
電話 0223-37-1171



社会福祉協議会
電話 0223-37-2785